

## 文部科学省実績評価書－平成17年度実績－（概要）

### 1. 趣旨・目的

平成18年度文部科学省実施計画に基づき、「文部科学省の使命と政策目標」の実現に向けて文部科学省が平成17年度に取り組んだ施策について実績評価を実施

### 2. 実績評価書の内容

45施策目標(217達成目標)ごとに以下の内容を作成

- ・基本目標、達成目標について、平成17年度の達成度合い(4段階)
- ・現状分析・今後の課題・評価結果の政策への反映方針
- ・指標・参考指標
- ・主な政策手段
- ・政策評価担当部局の所見
- ・評価結果の概要についての説明図

### 3. 評価書の主な改善点

本年度においては、以下の各点を改善

- 施策目標(基本目標)や達成目標の達成度合いの判断基準をより明確化
- 施策の成果を定量的に把握するための指標をさらに充実

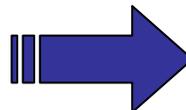
## 施策目標(基本目標)や達成目標の達成度合いの判断基準をより明確化

○すべての基本目標及び達成目標について達成度合いの判断基準(ア、イ、ウ、エの4段階を基本)を設定した。(昨年度:204達成目標中13件が未設定)

○更に、各基本目標及び達成目標について、定量化等により達成度合いの判断基準を明確化した。

定量化等により判断基準を明確化している達成目標

平成16年度 47%<sup>※1</sup>



平成17年度 76%<sup>※2</sup>

(※1 平成17年度個別審査結果 H18.3 総務省行政評価局)  
(※2 文部科学省調べ)

### 判断基準をより明確化した例

#### ○昨年度(実績評価書—平成16年度実績—)

達成目標7-5-1

平成17年度末までに、自然体験機会を得た青少年の割合を、平成14年度の割合を基準として、維持し又は増加させる。

【達成度合いの判断基準】

ア=自然体験機会を得た青少年の割合が従来に比し、大幅に増加。

イ=自然体験機会を得た青少年の割合が維持又は増加した。

ウ=自然体験機会を得た青少年の割合が減少した。

エ=自然体験機会を得た青少年の割合が従来に比し、大幅に減少。

#### ○本年度(実績評価書—平成17年度実績—)

達成目標2-4-3

自然体験機会を得た青少年の割合を、維持し又は増加させるための取組を推進する。

【達成度合いの判断基準】

ア=自然体験機会を得た青少年の割合や自然体験活動に係る指導者登録制度の新規登録者数、自然体験活動に資する場所の登録件数が、前年に比し、**3割以上増加した。**

イ=自然体験機会を得た青少年の割合や自然体験活動に係る指導者登録制度の新規登録者数、自然体験活動に資する場所の登録件数が、前年に比し、**1割以上増加した。**

ウ=自然体験機会を得た青少年の割合や自然体験活動に係る指導者登録制度の新規登録者数、自然体験活動に資する場所の登録件数が、前年に比し、**やや増加した。**

エ=自然体験機会を得た青少年の割合や自然体験活動に係る指導者登録制度の新規登録者数、自然体験活動に資する場所の登録件数が、前年に比し、**増加しなかった。**

定量的に示すことによって**判断基準を明確化**

## 施策の成果を定量的に把握するための指標を充実

各施策の成果を定量的に把握するための指標や参考指標をより充実させ、目標の達成度合いの測定の客観性の向上を図った。

- 基本目標や達成目標の達成度合いの判断に直接結びついた指標の数



- 基本目標や達成目標の達成度合いの判断の材料とした参考指標の数

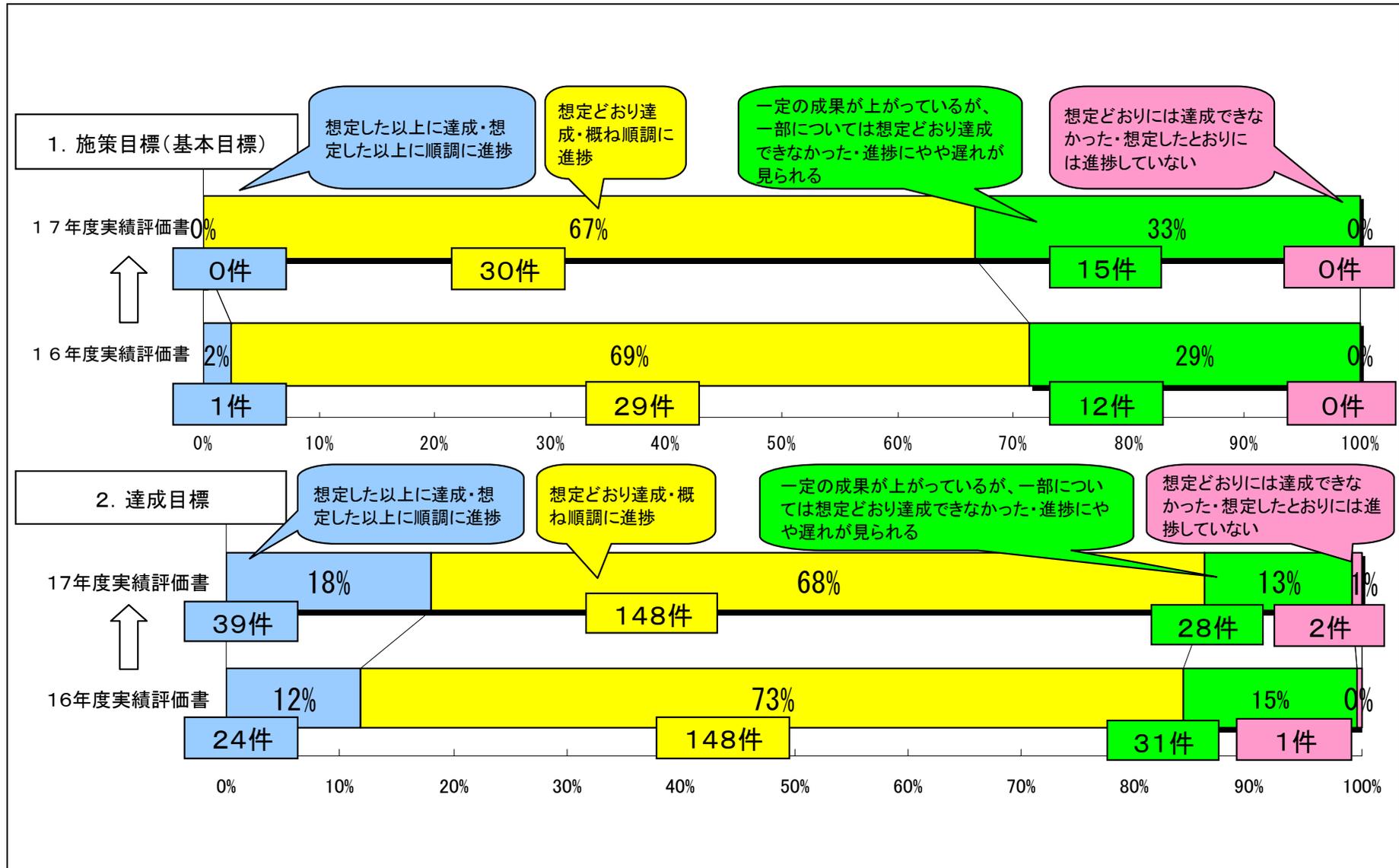


## 政策評価担当部局の所見により今後の評価の改善の方向性を提示

評価の内容の更なる向上を図るため、「政策評価担当部局の所見」欄において、今後の評価の改善の方向性を示した。

- 基本目標や達成目標の達成度合いの判断基準を定量化等により明確化することを検討すべきとしたもの： 10件
- 施策の成果をより適切に把握するための指標の設定を検討すべきとしたもの： 30件  
(45施策目標のうちの延べ数)

## 4. 施策目標(基本目標)及び達成目標の達成度合いのまとめ



文部科学省の使命と政策目標

**文部科学省の使命：** 教育、科学技術・学術、文化、スポーツの振興を未来への先行投資と位置づけ、これを通じ、「人材・教育・文化大国」と「科学技術創造立国」を実現する。

**政策目標 1 生涯学習社会の実現**

（生涯にわたって学ぶ機会が提供され、学んだ成果が適切に評価される社会を実現する）

- 施策目標 1-1 生涯を通じた学習機会の拡大
- 施策目標 1-2 地域の教育力の向上
- 施策目標 1-3 家庭の教育力の向上
- 施策目標 1-4 自立し挑戦する若者の育成
- 施策目標 1-5 ITに関連する教育・学習の振興とITを活用した教育・学習の振興

**政策目標 2 確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり**

（子どもたちが確かな学力、豊かな心と健やかな体を育成することのできる社会を実現するとともに信頼される学校づくりを進める）

- 施策目標 2-1 確かな学力の育成
- 施策目標 2-2 豊かな心の育成
- 施策目標 2-3 児童生徒の問題行動等への適切な対応
- 施策目標 2-4 青少年の健全育成
- 施策目標 2-5 健やかな体の育成
- 施策目標 2-6 地域住民に開かれた信頼される学校づくり
- 施策目標 2-7 魅力ある優れた教員の養成・確保
- 施策目標 2-8 安全・安心で豊かな学校施設・設備の整備推進

**政策目標 3 個性が輝く高等教育の推進と私学の振興**

「知識基盤社会」において、我が国が活力ある発展を続けていくために、高等教育を時代の牽引役として社会の負託に十分応えるものと変革する一方、社会の側がこれを積極的に支援するという双方の関係構築を推進する

- 施策目標 3-1 大学などにおける教育研究の質の向上
- 施策目標 3-2 大学などにおける教育研究基盤の整備
- 施策目標 3-3 意欲ある学生への支援体制の整備
- 施策目標 3-4 特色ある教育研究を展開する私立学校の振興

**政策目標 4 科学技術の戦略的重点化**

（国家的・社会的課題に対応する研究開発の重点化した推進と新興・融合領域への先見性、機動性をもった対応を実現するとともに未来を切り拓く質の高い基礎研究の推進を図る）

- 施策目標 4-1 基礎研究の推進
- 施策目標 4-2 ライフサイエンス分野の研究開発の重点的推進
- 施策目標 4-3 情報通信分野の研究開発の重点的推進
- 施策目標 4-4 環境分野の研究開発の重点的推進
- 施策目標 4-5 ナノテクノロジー・材料分野の研究開発の重点的推進
- 施策目標 4-6 原子力分野の研究・開発・利用の推進
- 施策目標 4-7 宇宙・航空分野の研究・開発・利用の推進
- 施策目標 4-8 海洋分野の研究開発の推進
- 施策目標 4-9 成果の社会への実装に向けた研究開発の推進
- 施策目標 4-10 新興・融合領域の研究開発の推進

**政策目標 5 優れた成果を創出する研究開発環境を構築するシステム改革**

（世界水準の優れた研究開発成果を生み出す仕組みを構築するとともに、そのための基盤の整備・充実を図る）

- 施策目標 5-1 優れた科学技術関係人材の養成・確保
- 施策目標 5-2 創造的な研究開発システムの構築
- 施策目標 5-3 科学技術振興のための基盤の整備
- 施策目標 5-4 科学技術関係の国際活動の戦略的推進

**政策目標 6 科学技術と社会の新しい関係の構築**

（科学技術の成果の社会への還元を推進するとともに、科学技術に対する国民の理解の増進及び信頼の獲得を図る）

- 施策目標 6-1 大学等における研究成果の社会還元の推進
- 施策目標 6-2 地域における科学技術の振興
- 施策目標 6-3 科学技術に関する国民意識の醸成
- 施策目標 6-4 原子力の安全の確保

**政策目標 7 スポーツの振興**

（生涯スポーツ社会の実現に向けて地域におけるスポーツ環境を確保するとともに、わが国の国際競技力を向上させ、子どもから大人まで心身ともに健全な社会を実現する）

- 施策目標 7-1 生涯スポーツ社会の実現
- 施策目標 7-2 我が国の国際競技力の向上
- 施策目標 7-3 学校体育の充実

**政策目標 8 文化による心豊かな社会の実現**

（優れた芸術文化の振興を図るとともに、我が国固有の伝統文化を継承・発展させることにより、文化による心豊かな社会を実現する）

- 施策目標 8-1 芸術文化活動の振興
- 施策目標 8-2 文化財の次世代への継承・発展
- 施策目標 8-3 文化振興のための基盤整備
- 施策目標 8-4 国際文化交流の推進による芸術文化水準の向上、文化を通じた国際貢献、諸外国との相互理解の増進

**政策目標 9 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進**

（入国・入居などに資する国際交流・協力の推進を通じて豊かな国際社会の構築の一翼を担う）

- 施策目標 9-1 日本人の心に見える国際協力の推進
- 施策目標 9-2 諸外国との人材交流の推進
- 施策目標 9-3 大学等による国際協力活動及び国際協力に携わる人材の育成・確保